



令和 5 年 1 月 10 日

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

所在地 大分市大字横尾4225番地

大分県森林づくりボランティア支援センター

団体名 大分市レクリエーション協会

代表者氏名 会長 安部 哲雄

電話 097-535-7349



あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 交付決定年月日 | 令和 4 年 9 月 1 日 |
| 交付決定番号 | 協働第 855 号 |
| 2. 事業名 | <u>風とあそぼう!!大分みどりの教室</u> |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | <u>133,750円</u> |
| 4. 補助金の概算交付額 | <u>0円</u> |
| 5. 補助金の精算額 | <u>133,750円</u> |
| 6. 事業の成果 | |

秋晴れの下、高尾山の自然の営みやどんぐり、樹木等森の様子を観察しながら、親子や友だちと一緒に課題に取り組んだり、会話を楽しんでいる様子がみられた。広場ではフープディスクゲッター、わなげ、バグジー、缶馬、たこあげ、モルック、ドッチビー、ふろしきバルーン、葉っぱのアート作り、どんぐり工作と、たくさんの種目を準備したが、参加者はそれぞれの種目を積極的に体験し、楽しんでいる様子がみられた。「楽しい!」「おもしろい!」「ヤッター!」など広場いっばいに響く笑い声や歓声がたくさんきかれた。

「秋の森を満喫し、適度な運動効果で閉塞感を打破するとともに心と体の元気づくりに寄与する」とした所期の目標を十分に達成することができた。なお、参加者、スタッフとも検温、手指消毒、マスク着用、密をさける等コロナ感染予防策を徹底して実施した。コロナ禍を経て3年ぶりの開催を待ちわびていた家族もたくさんいたことを知り、スタッフも次回への元気をもらった。

7. 添付書類
- (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
 - (2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
 - (3)活動目標に関する報告書
 - (4)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団体名	大分市レクリエーション協会			
事業名	風とあそぼう!! 大分みどりの教室			
主な活動地域	<p>※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。</p> <p><input type="checkbox"/> 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】</p> <p><input type="checkbox"/> 大分西部【春日、犬道、西の台、八幡】</p> <p><input type="checkbox"/> 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】</p> <p><input type="checkbox"/> 滝尾【滝尾】</p> <p><input type="checkbox"/> 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】</p> <p><input type="checkbox"/> 明野【明野】</p> <p><input type="checkbox"/> 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】</p> <p><input type="checkbox"/> 大南【戸次、判田、竹中、吉野】</p> <p><input type="checkbox"/> 植田【植田、宗方、横瀬、東植田、寒田、敷戸、鶯野、賀来】</p> <p><input type="checkbox"/> 大在【大在西、大在】</p> <p><input type="checkbox"/> 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】</p> <p><input type="checkbox"/> 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】</p> <p><input type="checkbox"/> 野津原【東部、中部、西部、今市】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 市内全域</p>			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受益 対象者数	実施内容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	4月5日	指管・榎大宣		会場使用届出
	8月24日	県レク事務局		開催(募集)要項作成
	8月30日	〃		募集チラシ印刷発注
	9月11日	〃		実行委員会立ち上げ・第1回実行委員会 *今後の日程、種目選考・決定、開催要項確認
	9月11日	高尾山		自然観察コース第1回下見 *コース調査、ポイント設定、原案作り
	9月24日	県レク事務局		第2回実行委員会 *自然観察コース内容検討、用具準備等
	9月24日	高尾山		自然観察コース第2回下見 *コース作成
	9月27日	県レク事務局		後援依頼申請書発送
	9月29日	〃		用具購入
	10月1日	〃		募集チラシ配布・郵送 *会員、認定校、小学校、公民館他にチラシ配布 (配布・郵送日 10/1 10/4 10/5)
	10月8日	〃		第3回実行委員会 *進捗状況確認、役割分担、タイムスケジュール作成、 自然観察コース第3回下見・会場広場下見
	10月8日	高尾山		*コース設定、設問作成、種目配置設定
	10月22日	県レク事務局		第4回実行委員会 *全般の進捗状況確認、スタッフ及び用具の準備・確認
	10月22日	高尾山		自然観察コース第4回下見・会場広場下見 *試し歩き、タイム計測、安全確認
10月27日	高尾山	(参加者) 子ども 56人	高尾山自然観察コース整備 (10/27 10/28 11/2)	
10月28日	県レク事務局	大人 67人	障害保健加入	
10月29日	〃	計 123人 (スタッフ) 計 31人 (合計)	第5回実行委員会 *当日スケジュール・スタッフ・コース・用具・保険等最終確認 *スタッフ会議資料、課題及び解説シート等作成・印刷	
11月3日	高尾山	計 154人	「風とあそぼう!! 大分みどりの教室」開催 大分合同新聞掲載で広報(10/27 11/3) 明野タイムズ掲載で広報 (10/1 12/1…結果)	

<p>使用した 広報手段 とその効果</p>	<p>使用した広報手段（チラシの作成、ホームページ、パンフレットの作成等）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大分市 名義後援 2. 大分市教育委員会 // 3. 大分県レクリエーション協会 // 4. 大分合同新聞社 // 5. NHK 大分放送局 // 6. OBS 大分放送 // 7. TOS テレビ大分 // 8. OAB 大分朝日放送 // 9. エフエム大分 // 10. J:COM 大分ケーブルテレコム // 11. 明野タイムズ…開催要項を記事にして掲載 12. 市内中心部を主とした小学校へ募集要項(チラシ)を配布 13. 市内各公民館に募集要項(チラシ)を配布 14. レクリエーションを科目している課程認定校を通じて募集要項(チラシ)を配布 15. レクリエーション会員等を通じて広報 <hr/> <p>今年度行った広報の効果</p> <p>小学校、課程認定校、公民館、レクリエーション会員等に募集要項(チラシ)を配布したり、開催前に大分合同新聞や明野タイムズに掲載する等の広報を行った結果、広く市民に周知され、効果としては他に行事の多い時節にもかかわらず123名の参加申込があった。大分市、大分市教育委員会をはじめとする各団体の後援をいただき、募集要項(チラシ)に記載させていただいたことが、更に効果を上げた要因となった。【参加申込者数】参加申込者123名・スタッフ31名</p>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があったのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> *広く市民を対象とした「風と遊ぼう!! 大分みどりの教室」をコロナ禍を経て3年ぶりに開催したが、開催を待ちわびていたたくさんの家族があった。コロナ禍以前、例年開催してきた実績により参加者、スタッフを合わせた大勢が高尾山自然公園に集まる恒例の事業といわれるようになったことを実感した。 *高尾山自然公園は参加者の大半が普段あまり接することのない場所であったが、自然探検やあそびのプログラム等で公園の活用の仕方を工夫して事業を展開したことにより、自然への接し方や楽しみ方を見出す効果があった。 *本企画が広く市民に周知され、「自然公園の青空の下、みんなの笑顔がいっぱい広がる楽しいつどいにする」、「楽しみながら適度な運動効果が得られる元気アップ・プログラムを体験し、閉塞感を打破するとともに子どもたちの心と体の元気づくりに寄与する」という企画によせる市民の期待の大きさと、この活動の広がりを感じた。 <hr/> <p>市民への効果について（市民にとってどのような効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> *秋の高尾山自然公園・ふれあい広場で自然にふれあい、ニューポーツに昔のあそびを加味した内容を展開した結果、たくさんの笑顔と歓声をみることができ、閉塞感の打破を実感した。 *参加申込状況を分析すると、①家族での申込、②学生等若年者の申込、③高尾山周辺のみならず金池、上野といった広範囲からの申込…等々多数で、本企画が広く市民に周知され、「自然公園の青空の下、みんなの笑顔がいっぱい広がる楽しいつどいにする」、「楽しみながら適度な運動効果が得られる元気アップ・プログラムを体験し、閉塞感を打破するとともに子どもたちの心と体の元気づくりに寄与する」という企画によせる市民の期待の大きさを多いに感じた。 *参加者から次回への期待や、スタッフへの慰労、励まし等々の多くのことばを頂き、市民の関心の高さを改めて感じた。
<p>来年度に向けた 課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①来年度は開催時期を従前の5月に戻し、会場は同一場所で開催する。 *コロナや天候等のもろもろの状況を勘案して開催判断をするのはもとより、企画内容についても安全を最優先して計画、実施することが必要である。 ②今回の広報手段により広く市民に周知することができた。 *来年度においてもより多くの校区に広報する等、市民への広報に工夫をする。

収支決算書

事業の名称： 風とあそぼう！！大分みどりの教室

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	133,750	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	0	
事業収入	23,600	大人…300円×67人、子ども…100円×35人
寄付金収入	0	
その他	61,030	自己資金
合 計	218,380	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報償費	27,000	講師謝礼(自然観察員) 9/11 自然観察コース第1回下見(コース調査・ポイント設定・原案作り) 9/24 自然観察コース第2回下見(コース作成) 10/8 自然観察コース第3回下見(コース設定・設問作成) 3,000円×3人/回×3回=27,000円
旅費	0	
消耗品費	39,062	別紙参照
燃料費	0	
食糧費	13,173	ポカリスエット・経口補水液・水…373円 紙コップ…110円×10P=1,100円 水…150円×6本=900円 お茶…2,160円×5ケース=10,800円
印刷製本費	66,400	参加募集チラシ印刷代(A4・外注)…一式(6,000枚) 59,400円 カラーコピー代 … 7,000円
通信運搬費	3,132	切手代(昨年参加申込者へ郵送)…84円×30枚=2,520円 切手代(課程認定校へ郵送)…84円×3枚=252円 切手代(報告書郵送)…120円×3枚=360円
広告料	0	
保険料	5,880	参加者・スタッフ保険料
手数料・委託費	0	
使用料・賃借料	0	
原材料費	0	
備品購入費	63,733	バグジー…38,500円×1セット=38,500円 モルック…6,908円×1セット=6,908円 カラーコーン… 325円×20こ=6,500円 おもり… 295円×20こ=5,900円 コーンバー… 395円×15こ=5,925円
合 計	218,380	

活動目標報告書

1 自己収益（※）拡大に向けて

(1) 目標としていた自己収益金の総額 円

(2) 今年度の自己収益金の総額 円

(3) 自己収益拡大に向けた具体的な取り組み

(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

- ①大分市、大分市教育委員会、マスコミ各社に後援を依頼し、当該事業を広報した
- ②会員、学校、公民館等に募集要項(チラシ)を送付して周知し、参加者増を図った
- ③レクリエーション協会が開催する事業や講習会への参加者を勧誘して、参加者増を図った

以上により自己収益目標設定値を達成すべく取り組んできたが、コロナ禍により計画していた事業の大半が活動の中止を余儀なくされたため、目標を達成できなかった

[改善策]

コロナ感染予防対策を徹底する等の安全策を図り、従前の手法にこだわらずコロナ禍であっても安全に開催できる方策を研究し活動を展開して自己収益拡大に取り組む

記入例：会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。

協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。

来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。

など

2 受益対象者を増加させるための取り組み

(1) 目標としていた受益対象者数 人

(2) 今年度の受益対象者数 人

(3) 受益対象者増に向けた具体的な取り組み

(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

従前以上の広報活動を行う等、受益対象者数の増加を図るべく取り組みをしてきたが、コロナ禍により事業の大半が中止を余儀なくされたことと、開催した事業においてもコロナを懸念して参加者が減少したこともあり目標を達成できなかった

[改善策]

コロナ感染予防対策を徹底するとともに、事業の内容についてもより安全に展開できる方策を研究し受益対象者増に取り組む